

小野中学校2年



ホストファミリーと

初めてのアメリカでのホームステイとキャンプ。最初は楽しみよりも海外で過ごす不安の方が大きかったです。でも実際に行ってみると、みんな優しく接してくれて温かい人たちでした。ホームステイをしている中で、たくさん日本と違う文化を見つめました。特に驚いたことは、ピザの大きさやフライドポテトの量が日本とは比べものにならないくらい多かったことです。他にもアメリカの文化は、日本とはかなり違っていました。言葉が通じ合えないときもありましたが、伝えようとする気持ちが大切だということに気が付きました。そして人と助け合って生きてゆく大切さも学びました。この研修は、私にとっても貴重な10日間でした。

田村 美月

小野中学校2年



ホストファミリーと(右)

私がサマーキャンプ中学生の翼に参加した理由は、自分の英語力を試してみたいということでした。実際にアメリカへ行ってみると必死に伝えようとすれば言葉が多少違ってても伝わることが分かりました。そして、一番感じたのは、人の温かさです。ホストファミリーをはじめたくさんの方が英語でゆっくりと話をしてくれたり、私たちの生活環境を整えてくれました。キャンプ場ではウォータースキーやカヌー、乗馬など素晴らしい体験をたくさんさせてもらいました。このようにアメリカで貴重な経験ができたのは、両親や引率の方々、小野町の皆さんのおかげです。本当にありがとうございました。

吉田 陽希

小野中学校2年



キャンプ場で(右)

私は7月28日から8月6日までの10日間、サマーキャンプでアメリカに行きました。私はこの研修に参加して、学んだことが2つあります。1つ目は、たどたどしい英語でも相手の目を見て一生懸命話をすれば伝わるといふ事です。2つ目は、自分の家族の存在です。いつもは何気なく一緒にいる家族ですが、離れてみて私は守られているんだなと思えました。アメリカでもホストファミリーの方に本当の子どもの様に接してもらいたいともうれしかったです。今回、研修の機会を与えてくださった町長さんはじめ小野町の皆さん、両親に感謝して、これからの自分の夢にプラスにしていきたいと思えます。

吉田 萌香

小野中学校2年



ホストファミリーと(前列左)

サマーキャンプは、私にとっても充実した10日間を過ごせたと思います。ホストファミリーとの初対面の時は、すごくドキドキでした。でも想像以上に明るく楽しい家族だったのでホッとしました。それからホストファミリーと過ごした時間はとても楽しかったのですが、英語で表現できない自分いら立ち、少し悔しかったです。でもファミリーは私を理解しようとしてくれました。それがとてもうれしくて、私とホストファミリーは一番「家族」になれたと思います。だから「家族」との別れはとても悲しかったです。キャンプではとてもいい出会いがあり、楽しいスポーツも見つけました。アメリカに行き、将来の夢がまだない私にも何かが見えた気がします。

佐藤 花野

湊金中学校2年



ニューヨーク市内で食事

私は、このサマーキャンプでもとても良い体験をすることができました。私は、飛行機に乗ることも、海外に行くことも初めてだったので、出発する前はとても不安でした。でも、飛行機も怖くなかったし、アメリカでも、団員と一緒に行動していたので不安はありませんでした。アメリカでは、前半がホームステイ、後半がキャンプでした。私は、ホームステイ先の家族と親しくなるのが心配でしたが、たくさん話すことができ、またいろいろな場所に連れて行ってもらえて良かったです。キャンプでは、自然の中で思いっきり活動ができました。アメリカでの10日間は、本当に楽しかったです。